

くらしのすまいりんぐ

地球と人に優しい家づくり・くらしづくりの情報広場

2021年6月吉日発行
NO.0084
発行責任者：(有)文化舎東毛
〒376-0101
みどり市大間々町大間々1190-4
☎0277-73-4850

<今月の話>

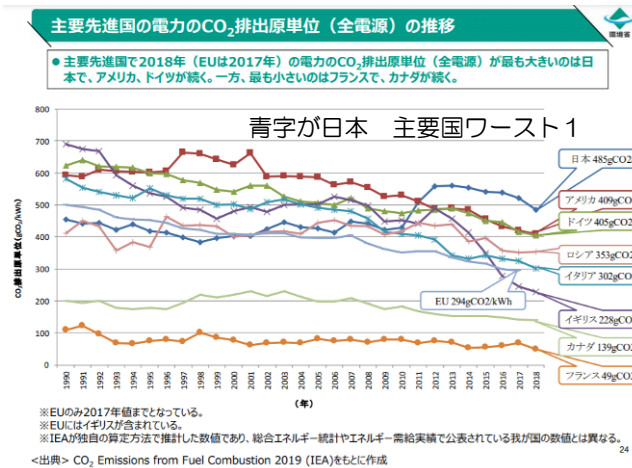
1. 今月の話題 ～温室効果ガス 2013 年度比 46%削減～
2. 重ね煮 ～野菜の力を最大限に活かし免疫力をあげる料理法～
3. 「プロギング」ジョギング+ゴミ拾いの新感覚 SDGs スポーツ
4. 建築知識 ～住みごこちを良くする 屋根の断熱 その2～
5. ハイブリッドソーラーハウス ～梅雨時～
6. パート従業員 募集中
7. 辛口コラム ～日本ではワクチンの国産は無理？～



今月の話題 ～温室効果ガス 2013 年度比 46%削減～

この4月、菅総理大臣は、政府の地球温暖化対策推進本部の会合で、日本の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減すると表明しました。

2019年度比でみると欧州とアメリカでは2020年度の温室効果ガス排出量は、年間約12%減少したという分析があります(BBC news Japan)。日本の排出量推計値は公表されていませんが、減少傾向であったことは間違いありません。しかしこの減少効果は、新型コロナで経済活動が停滞していた影響で、意図的に減らしたというものではありません。



EUなど一般的に温室効果ガスは1990年度比の削減率を目標値としますが、日本は国内温室効果ガス排出量が最大だった2013年度を基準としています。東日本大震災後、原発が停止しており、石炭火力発電の稼働率が高かったため、電力のCO₂排出原単位が悪化していたのです。温室効果ガス排出量が多い年を基点としたこともあり、2018年度が2013年度比で12%減であったので、仮に2020年度が2013年度比20%減であれば、毎年前年比5%減を繰り返せば、46%減は可能です。これをなんとか達成できたとしても、2050

年にはカーボンニュートラルという目標が待っています。

再生可能エネルギーへのシフトが期待されましたが、余剰電力売電価格が下がったことで、国内の太陽光発電市場は停滞気味。風力発電や太陽熱利用などその他の再生可能エネルギー利用が活性化することなく、原発再稼働に頼った温室効果ガス排出削減という流れは核のゴミ問題が解決できない限り、一日も早く軌道修正すべきではないでしょうか。

野菜の力を最大限に活かし免疫力をあげる料理法

—重ね煮(かさねに)—



ブイヨンを使わなくてもこんなに美味しいチャウダーができちゃう♪潮干狩りで採った新鮮なあさりを使って旬のものを味わってみるのもよいですね。お味噌汁や酒蒸し、パスタなどいろんな味わいがあるあさりちゃん。豆乳の優しいお味どうぞ

あさりの豆乳チャウダー

1. 図のように材料を重ねて、ひたひたの水を加えフタをして中火にかける。

2. 湯気が出たら弱火にし、野菜が柔らかくなれば、残りの水、豆乳、塩を加えて味をととのえる。

【今日のポイント】

☆先に塩で濃めに整えてから豆乳を入れてください。豆乳を加えた後は煮立たせないようにしてくださいね。

POINT! 重ね方はこの順番

味噌	小さじ2
あさり	150g・・・塩抜きしておく
にんじん	45g・・・厚めの色紙切り
玉ねぎ	80g・・・1cm角のあられ切り
じゃがいも	100g・・・1cm角のあられ切り
キャベツ	80g・・・色紙切り



水	2カップ	こしょう	少々
豆乳	1カップ	パセリ	適量
小さじ	1弱		

重ね煮アカデミー主宰 <https://mequ-kasaneni.com/>

「ジョギング+ゴミ拾い」の新感覚 SDGs スポーツ

「プロギング」

プロギングとは、ジョギング(Jogging)とゴミ拾い(PlockaUpp)を掛け合わせた、北欧スウェーデン発祥のスポーツ。誰でも簡単にかつ楽しく SDGs の貢献ができるためヨーロッパをはじめ、メキシコ、近年では日本でも広がりつつあります。

プロギングの魅力は大きく3つ!

- 1 新しい出会いと交流が生まれる
「町をきれいにしたい」という素敵な思いの人が集まるので素敵な人脈につながるのである!
- 2 なかなか良いトレーニングになる。
ゴミを拾う時しゃがむ必要があるため、スクワット効果が加わりフィットネス効果もアップ! トライアスロンのトレーニングにも取り入れられているそうですよ。
- 3 街がきれいになる+自己肯定感アップ
ゴミ拾いを体験するとそれまで何気なく歩いていた道でもゴミに気づくようになります。すると意識の変化が起こり日々の生活でも無駄な消費を減らすようになったり、社会貢献しているという意識から自己肯定感もあがるという良さもあります!



情報を提供して下さった一般社団法人プロギングジャパン様は、プロギングを通じた様々な事業を行政や企業とコラボしています。「世界を足元から変える」というキーワードで小さな事もみんなで一歩一歩やることによって世界は必ず変えられる。という思いでやっています。今後は婚活イベントも計画中です♪



建築知識

～住みごこちを良くする 屋根の断熱 その2～

天井が水平に張ってある場合、断熱を良くするには天井裏に断熱を吹き込めば簡単にできますが、勾配屋根に断熱してある場合は少々厄介です。2、30年前に樹脂断熱板メーカーが「外張断熱」工法を世に広めました。そのとき「天井裏にも部屋ができる」と言うのを売り言葉に屋根構造の上にも断熱板を張るのを流行させました。分厚い断熱板を張るのは難しいので薄めに張った例が多くせいぜいR2.3止まり。出来れば国の99年基準にあるR4.6以上にしたいものです。

※R値 断熱の強さを表す数値 $R = (\text{断熱材の厚さmm}) \div (\text{熱伝導率 W/m}) \div 1000$

断熱増強工事は2つあります。1つは発泡断熱材を吹き付ける方法です。ウレタン樹脂など液体糊の様な物を吹き付けてやると、発砲して固着します。国の基準値R4.6にするためもうR2.3加える為には厚さ80mmが必要です。地元の工務店経由で専門の吹付断熱屋さんによってもらいます。もう一つは木材で骨組みを組んで高性能グラスウールなどをはめ込む方法で、これなら地元の工務店に頼めば誰でもやってくれます。もしグラスウールやセルローズを付加するなら厚さ100mmでいいです。すでに施工してある元々の断熱と合計でR4.6になればOK。勾配屋根で断熱すると、空間が大きくなり熱損失が増えるので、国の基準でも天井で断熱した場合よりも15%増しの断熱が求められます。必要な部分だけ勾配天井にするのが良いでしょう。



ハイブリッドソーラーハウス

～梅雨時～

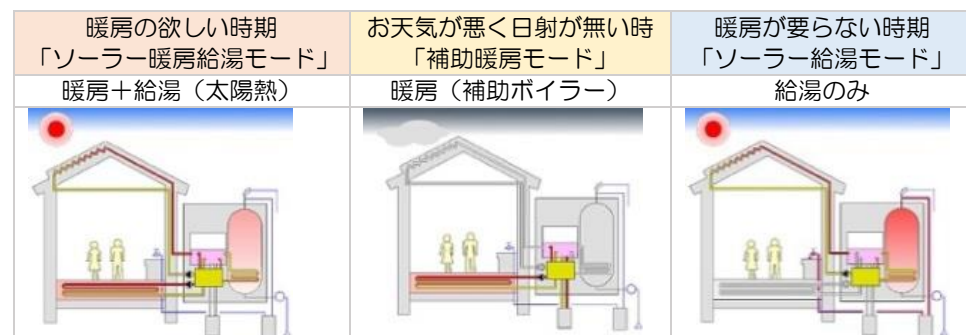
毎年嫌な雨が続きジメジメとした梅雨の季節がやってきます。梅雨の時期は少し肌寒かったり、洗濯物の生乾き、湿気がこもりやすくなりカビやダニの発生など1年の中で嫌な時期のひとつなのではないでしょうか。

ハイブリッドソーラーハウスなら、24時間365日快適な住まい環境を維持できます。

ハイブリッド
ソーラーハウス

太陽熱を蓄熱し「床暖房」「給湯」に効率的に活用し、快適な住環境を実現できます

ハイブリッドソーラーハウスは3つの運転モードがあり、梅雨時のような雨のときでも室内は暖かく快適に過ごすことができます



また、カビやダニは湿度が60%を切ると活動不能になります。ハイブリッドソーラーハウスは、湿度が30~40%に維持されるので、発生を抑えることができます。

募集

パート従業員 募集中!

◇主な作業内容



土地販売の営業



ポスティング



資料作り

など



◇勤務場所

群馬県みどり市大間々町大間々1190-4

◇勤務時間

AM9:00~PM5:00 の間の4~5時間 時給850円~

※休日は当社年間カレンダーによる(基本土日休み・週休2日)

◇連絡先

0277-73-4850

履歴書をご持参の上、面接を行います。ご応募お待ちしております。



辛口コラム

～日本ではワクチンの国産は無理?～

昨年から経済に大打撃を与えているコロナ禍収束の決め手はワクチンです。

ジョンズホプキンス大学は、国別に人口の何%にワクチンの2回接種が行われたかを公表しています。1位ジブラルタル99.7%、3位イスラエル56%、その他米国30%(1回以上は46%)、大量死から立ち直った英国24%(52%)、モロッコ12%等があり90位が日本0.8%(2%)です(5/6現在)。

欧米の人口百万人当りの新規感染は日本の数倍~十数倍(5/2)なので、EUがアストラゼネカを「供給が遅い」と訴えるようなワクチン争奪戦の最中、日本に潤沢に入荷しなくて当然かもしれません。ならば日本は自分でワクチンを作る力はないのでしょうか。

ワクチンは開発・製造共に巨大なリスクと投資が必要で商売としては成り立ちにくい。そこでこれを国の安全保障ととらえて膨大な支援をした国の産物がファイザーなど先行各社のワクチンです。

日本政府は初めからあきらめて外国頼み、事故不問など条件付きで契約しました。20

年度補正予算で2700億円の国産ワクチン補助金が織り込まれましたが、米国がワクチン開発を急がせた予算は1兆円規模、急がせる為だけにです。

例の一律10万円の給付金の予算が13兆円だったことを考えると政府は余程日本の研究者をバカにしているように見えます。安全保障は軍事だけではなく、新規ウィルスの暴発も国を根底から揺さぶるもので、その為の基礎研究を国が支援することは重要です。逆に早期開発ができれば戦略物資にすらなります。最先行のアンジェス+大阪大学は既に第二段階臨床試験に進んでおり国を挙げて支援したいものです。



<https://coronavirus.jhu.edu/>

